

和歌山下津港港湾計画資料

— 軽易な変更 —

平成25年11月

和歌山下津港港湾管理者

和 歌 山 県

目 次

I. 変更理由	1
II. 港湾施設の規模及び配置に関する資料	2
1. マリーナ計画	2
III. その他の資料	6
1. 環境の保全に関する資料	6
2. 地方港湾審議会名簿	7

I. 変更理由

毛見地区において、海洋性レクリエーションの要請の変化に対応するため、マリーナ計画を変更する。

Ⅱ．港湾施設の規模及び配置に関する資料

1. マリーナ計画

(1) マリーナ計画の概要

和歌山県は近畿圏でも有数の海洋県であり、近年の余暇活動の増大により海洋性レクリエーション需要の伸びとこれに伴うプレジャーボートの増加が予想される。

一方で和歌山県の公共水域（港湾・河川・漁港・海岸）においては、無秩序に係留されたプレジャーボート等放置艇による船舶航行の支障・騒音・違法駐車・ゴミの投棄・景観悪化等の問題が生じている。

これらの問題を解消するため、毛見地区にセールボートを対象としたマリーナが計画されたものである。

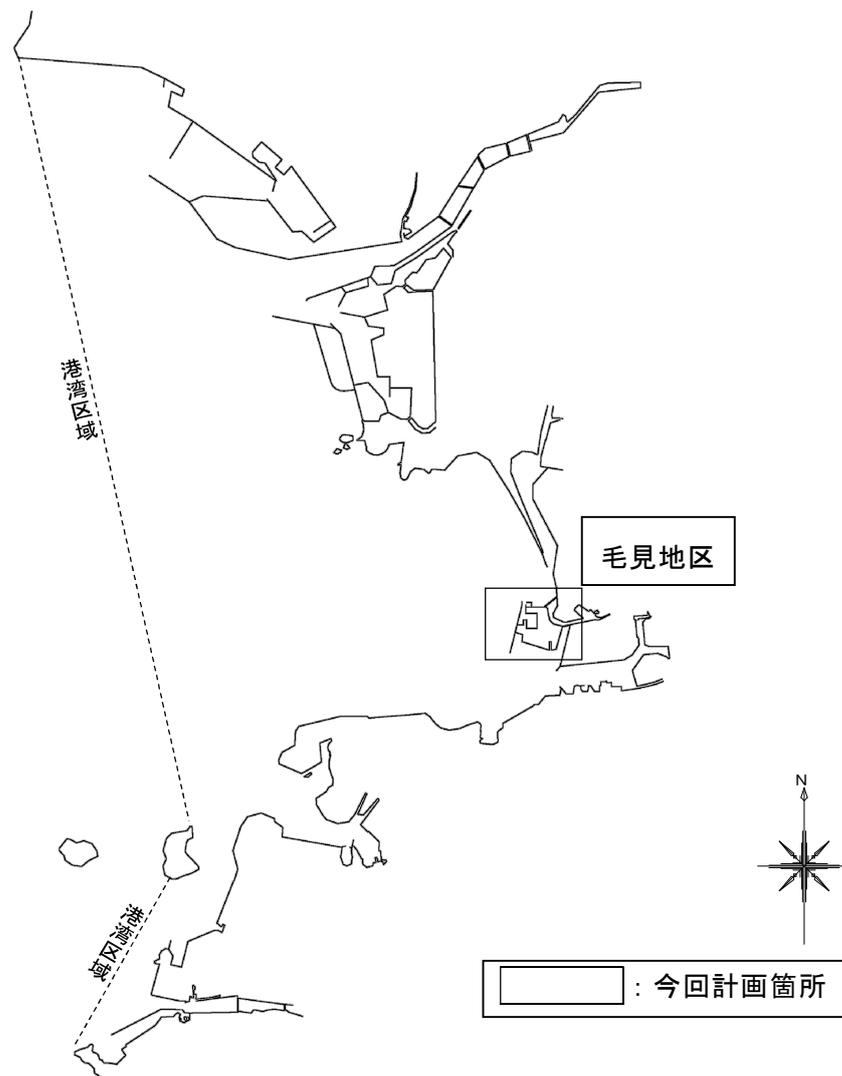


図 2-1 マリーナ計画位置図

(2) マリーナ計画の規模及び配置

マリーナ計画の規模及び配置は、次のとおりである。

表 2-1 マリーナ計画の概要

地区名	マリーナ	施設種類	内容	備考
毛見地区	北マリーナ	北防波堤	470m	既設
		防波堤	180m	既定の変更計画
		棧橋	15基	既設
		物揚場	(-3.0m)290m	
		物揚場	(-2.0m)70m	
		船揚場	18m	
		レクリエーション施設	38ha	



図 2-2 施設配置図

(3) 静穏度の検討

今回計画で変更する毛見地区防波堤について、防波堤内の係留施設における静穏度検討結果は次のとおりである。

1) 静穏度の目標値

静穏度の目標は、表 2-2 に示すとおりである。

表 2-2 静穏度の目標値

	係留施設前面波高(H1/3)	稼働率
通常時	0.3m 以下	97.5%

2) 既定計画の静穏度

静穏度は、表 2-3 に示すとおり目標値を満足する。

表 2-3 稼働率算定結果

波向	0.3m 以上の出現率(%)	稼働率
N	0.00	99.50%
NNW	0.50	
NW	0.00	
WNW	0.00	
W	0.00	
WSW	0.00	
SW	0.00	
合計(%)	0.50	

3) 変更計画の静穏度の検討

静穏度は、表 2-4 に示すとおり目標値を満足する。

表 2-4 稼働率算定結果

波向	0.3m 以上の出現率(%)	稼働率
WNW	0.26	98.72%
W	0.57	
WSW	0.08	
SW	0.16	
SSW	0.21	
合計(%)	1.28	

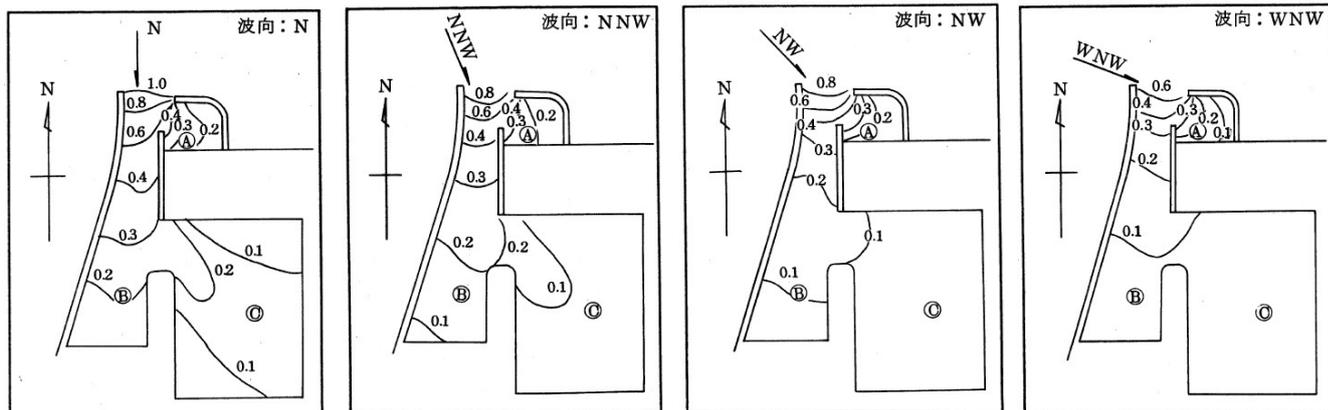


図 2-3 既定計画における等波高比線図

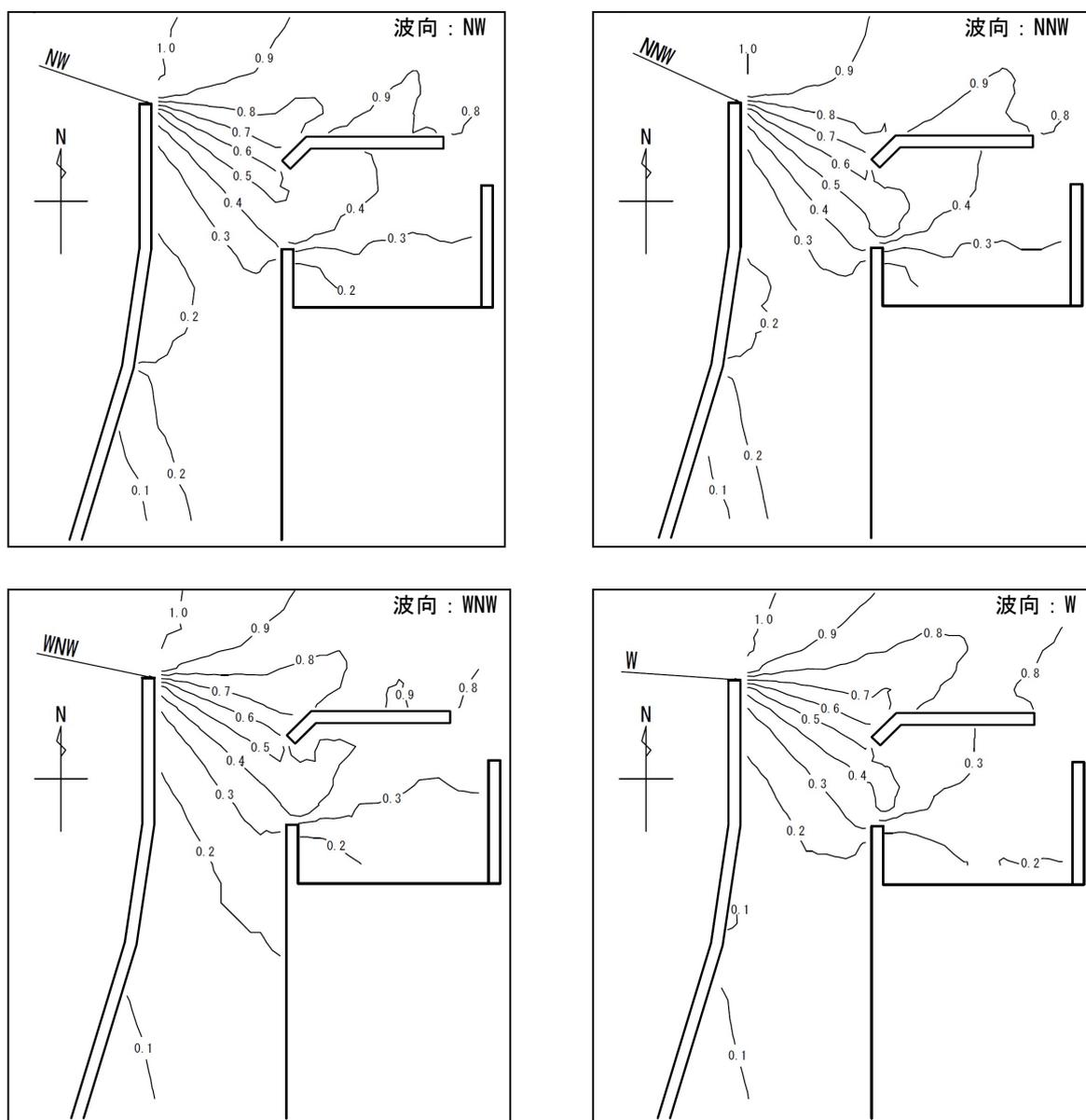


図 2-4 変更計画における等波高比線図

Ⅲ. その他の資料

1. 環境の保全に関する資料

今回の計画は、地形変化が少なく、新たに生じる環境負荷もほとんどないため、大気質・生態系・景観等への影響は軽微なものとする。また、潮流・水質及び底質に与える影響も軽微であるため、周辺漁業に与える影響は軽微であるとする。

以上のことから、今回の計画は、環境に与える影響は軽微であるとする。

2. 地方港湾審議会名簿

和歌山県地方港湾審議会委員名簿

平成 25 年 11 月現在
(敬称略、順不同)

委員の種類	氏名	職名
第 1 号	黒田 勝彦	神戸大学名誉教授
	濱田 學昭	NPO街づくり支援センター代表・元和歌山大学特任教授
	辻本 勝久	和歌山大学経済学部教授
	藤澤 祥子	和歌山信愛女子短期大学非常勤講師
	谷 奈々	和歌山社会経済研究所研究委員
	千森 督子	和歌山信愛女子短期大学生活文化学科教授
	小池 信昭	和歌山工業高等専門学校環境都市工学科准教授
	和田 聡子	大阪学院大学経済学部教授
	第 2 号	小林 道明
西村 雅臣		和歌山港運協会会長
高宮 成昭		全日本海員組合大阪支部長
橋本 孟士		和歌山下津水先区水先人会会長
吉田 擴		御坊商工会議所会頭
中川 藤吉		日高木材協同組合理事長
三宅 貴久		和歌山県港湾協会副会長
木下 吉雄		和歌山県漁業協同組合連合会代表理事会会長
若林 伸男		和歌山港湾福利厚生協会理事長
第 3 号	大橋 建一	和歌山市長
	神出 政巳	海南市長
	望月 良男	有田市長
	柏木 征夫	御坊市長
	森下 誠史	美浜町長
第 4 号	山田 正彦	和歌山県議会議員
	森 礼子	和歌山県議会議員
第 5 号	山田 秀樹	大阪税関長
	大久保 仁	近畿運輸局長
	大橋 功	田辺海上保安部長
	谷延 京一	和歌山下津港長
	池内 幸司	近畿地方整備局長
第 6 号	下 宏	和歌山県副知事